

令和元年度 えびの市立真幸小学校 学校評価

I 学力向上

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	意 見
1 学習指導の充実 (1) 基礎基本の定着と活用力の向上	3. 6	3. 3	3. 2	授業中の習熟の時間、真幸タイムを活用し、基礎基本の定着と活用力の向上を図っている。休み時間や放課後等にも個別指導を行い、学力向上に努めている。	授業中における習熟の時間や個別指導の時間を十分確保するとともに、教師の授業力の向上を図る。	校内研修や個人研修を通して、指導方法の工夫改善を行い日々の授業を充実させるとともに、家庭学習の内容を工夫し、学力の向上を図る。	3. 0	・ 真幸タイムを利用・活用し、先生方も取り組まれているので、期待できると感じている。 ・ 学校での指導が全国・県平均で上回ったことの大きな要因だと思う。先生方の努力があったことだと思う。
1 学習指導の充実 (2) 授業スタイルの形成	3. 3	3. 0	3. 1	各学級の児童の実態に応じた学びの指導を行っている。児童自身にしっかりと考えさせ、友達と交流して考えを深め合う授業を実践している。	教師は児童の理解を早めるため必要以上の支援をしてしまう傾向にある。児童が主体的に学習に取り組むことが学力向上につながる。	校内研修や個人研修を通して、主体的・対話的で深い学びとなる効果的な指導方法のあり方を研究し、日々の授業で実践する。	3. 0	・ 小体連での本校の活躍やテストでの県平均より点数が良いことなど、先生方の努力があったことだと思う。今後とも、子どもたちに活躍の場を与えてくださるとうれしく思う。
1 学習指導の充実 (3) より効果的な学習形態等	3. 6	3. 2	3. 2	実物投影機、視聴覚教材などの教材教具の工夫をしたり、学習形態の工夫をしたりして、児童の学習内容の理解を促している。	学級、児童によって理解度や学習意欲などの実態は異なっている。各学習形態には、それぞれの良さがあり、学習内容、単元によって効果が異なる。	校内研修や個人研修を通して、一人一人の学力向上を図る効果的な指導方法のあり方を今後も研究し、日々の授業で実践する。	3. 7	
1 学習指導の充実 (4) 教育課程特例校による外国語教育の充実	3. 5	3. 2	3. 2	外国語教育推進TTやALTとの連携を図りながら、学級担任が主体となった授業を展開し、児童のコミュニケーション能力の育成を図っている。	学級担任一人一人の指導力の向上をさらに図ることが、児童の外国語に対する資質・能力の育成につながる。	外国語教育推進TTやALTとの打合せを密に行うとともに研究授業を含む校内研修を充実させ、指導力の向上を図る。	3. 3	
2 家庭学習の定着 (1) 家庭との連携	3. 4	3. 0	3. 1	年度当初に「家庭学習の進め方」を配付し、家庭と連携しながら進めていくことを確認した。教師による課題等の見取りを行い、学習内容の定着を図っている。	家庭学習の取組に個人差があり、学習内容の定着にも差が生じている。	今後も、保護者への家庭学習の協力を呼びかけるとともに、教師の家庭学習の見取りを確実に行うことで、児童の意欲の向上を図る。	3. 0	・ 家庭で親子の会話は行われているようである。さらに親が学習に対して関心をもつこと、もたせることが大切だと思う。 ・ 親が子どもの宿題をチェックしているかどうか大切である。
2 家庭学習の定着 (2) 家庭学習の工夫改善(読書等)	3. 3	2. 7	2. 9	学校では学級文庫等を読む姿が見られるが、家庭では読まない児童も見られるようである。図書委員会の児童を中心に読書活動の推進を図っている。	読書を好む児童をそうでない児童の差がある。児童の読書意欲を高める工夫が必要である。	児童の読書意欲を高めるため図書室の環境整備を図り、新刊図書の購入を図った。委員会を中心に読書を勧める活動をさらに進めていく。今後も読書意欲を高める工夫を継続していく。	2. 0	・ 1年生だけでなく全学年にこの活動をされるとうち少し良いのではないかと。先生方においては、それなりに努力されていると思う。 ・ 読書だけが宿題の日とか設けるとよいと思う。 ・ 本を読みなさいと言うだけで難しい。
意 見 (保護者の自由記述欄)	<p>○ 入学した頃には、学力向上を目標に頑張っているというお話があった。「他校と比べても低下が見られるので自宅でも声かけをお願いします。」と言われてたが、今回のテストでは結果が良くすごいなと感じた。先生方のご尽力のおかげだと思った。</p> <p>○ 人権教育も力が入っていてすごいと思った。いろんな分野を幅広く、のびのびと教育してくださって本当に感謝している。</p> <p>○ 町探検などは、例年通りで行うのもよいが、小学生では難しくても、自発的に行く場所を考えてやらせてみるのもよいと思う。</p>							

II 心の教育・生徒指導

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現状	課題	改善点	評価	意見
1 望ましい人間関係 (1) 丁寧な言葉遣い	3. 4	3. 1	3. 3	児童アンケートでは、約9割の児童が丁寧な言葉遣いができていると答えている。職員も概ね良いという評価をしている。	相手を思いやる意識との関連が深い。人権意識を高めることが正しい言葉遣いにつながる。	学級活動における言葉遣いの指導、常時指導を通して、正しい言葉遣いが継続できるようにする。	3. 0	<ul style="list-style-type: none"> 悪い言葉遣いを聞かないような気がする。学校外で声をかけてもきちんと応答してくれる。 学童さんを見ていて、言葉遣いが悪いのは気になることがある。
1 望ましい人間関係 (2) 人権感覚	3. 6	3. 1	3. 4	学校生活の中で、友達が嫌がる言葉を遣ったり、嫌がることをしたりする児童が見られる。	友達が喜ぶ言葉遣いや、相手を思いやる行動ができるようになる。	学級活動だけでなく、全教育活動において人権に関する指導を実施し、人権感覚を磨いていく。参観日で人権教育を行い、保護者への啓発を図る。	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> 登校時上の子の下の子への優しさを感じる場面を見る。 学校での指導もだが、より家庭での指導が大切だと思う。 相手を思いやりすぎる。心配するくらいいい子ばかり。
2 基本的な生活習慣 (1) 規範意識	3. 6	3. 4	3. 5	児童、保護者、教師ともに、児童はきまりを守って生活できていると答えている割合が高い。校内外で気になることがある時はすぐに指導を行い、再発防止に努めている。	今後も、学校のきまりや社会のきまりを守って、楽しく生活できるようにする。	職員間で学校のきまりを年度当初に共通理解を図り、共通実践できるようにする。地域、保護者の声に耳を傾け、早期に対応する。	3. 5	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルール等を守って行動しているように思う。 スマホやゲーム機などの使用する時と場を家庭で教える必要がある。
2 基本的な生活習慣 (2) 具体的な取組事項	3. 5	3. 2	3. 4	あいさつは、学校でも地域でも概ね進んでできている。しかし、進んでできる子とそうでない子の差がある。1km徒歩登校ができていない児童が見られる。	元気のよいあいさつ、心のこもったあいさつの継続を図る。また、1km徒歩登校を推奨し、心と体を鍛える。	実態及び取組事項の職員間の共通理解・共通実践を図り、質の向上を目指すとともに、保護者への啓発を継続して行う。	3. 2	<ul style="list-style-type: none"> 立ち番の時に、児童から「おはようございます」と言ってくれることが多い。 信号で止まった車にも頭を下げるあいさつができています。
意見 (保護者の自由記述欄)	<p>○ 心身共に健康に育っているように思える。我が子も、よく食べ、よく学び、外でもよく遊ぶことができ、心身ともにおかげ様で健康である。</p> <p>○ あいさつがとでもできていると思う。横断歩道を渡る時、渡り終わってから運転手へ頭を下げる子どもがたくさんおり、良いことだと思う。</p> <p>○ 自発的なあいさつができていないと思う。元気なあいさつができる子と、できない子の差が激しいと思う。(大人からあいさつしても、してくれない。)</p>							

Ⅲ 連携の推進

(4段階評価)

重点指導事項	自己評価			現状と課題、改善点			学校運営協議会の皆様の評価	
	児童	保護者	教師	現 状	課 題	改善点	評価	意 見
1 教育方針の伝達	/	3. 1	3. 2	学校の教育方針については、PTA 総会、全校懇談、PTA の会合など、機会を捉えて説明している。	保護者のアンケート結果から、学校の教育方針が全家庭に十分伝わっていないところがある。	PTA 総会や参観日の懇談資料学校 HP など、様々な方法で、学校の様子や児童の様子について継続して発信していく。	3. 8	・ 学校運営協議会委員にも、安心メール等の受信ができるとうかがっています。
2 家庭との連携	/	3. 1	3. 5	児童の健康や生徒指導に関することなど、気になることはその日のうちに家庭に知らせるようにしている。	保護者のアンケート結果から、保護者は学校での様子、気になることは、小さなこともできるだけ知らせてほしいと願っている。	児童の様子について気になったことはその日のうちに確実に連絡するとともに、家庭からの要望にも丁寧に対応し、信頼を高めしていく。	3. 8	
3 情報の発信・啓発	/	3. 3	3. 3	子どもの様子や学校からのお願いについては、学級通信や学校ホームページ等で、適宜お知らせし、理解を求めている。	情報の内容は、保護者の要望にも応えるなど工夫したり、学校ホームページの更新を知らせたりする必要がある。	今後も学校ホームページの更新を適宜行うなど、児童の様子を積極的に発信して、学校と家庭が協力して児童の育成を図るようにする。	3. 3	・ 安心メールで、更新情報をお知らせするとよい。 ・ HP のメニューが多すぎて見にくいと思う。もう少し簡単でもよい。PTA 広報部にもお願いするとよい。
意見 (保護者の自由記述欄)	○ 先生方もとても熱心で、丁寧に指導してくださっていると思う。担任の先生は毎日、通信を出してくれて、学校の様子や今どんなことを勉強しているのか、よくわかる。人権教育も力が入っていてすごいと思う。いろんな分野を幅広く、のびのびと教育してくださって本当に感謝している。							